

各都道府県介護保険担当課（室）

各市町村介護保険担当課（室） 御 中

← 厚生労働省老健局 認知症施策・地域介護推進課、高齢者支援課

介 護 保 険 最 新 情 報

今回の内容

大阪・関西万博における厚生労働省老健局の催事出展
について

計2枚（本紙を除く）

Vol.1394

令和7年6月16日

厚 生 労 働 省 老 健 局

認知症施策・地域介護推進課、高齢者支援課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよう
よろしく願いいたします。 】

連絡先 TEL：03-5253-1111（内線 3973）

FAX：03-3503-7894

事 務 連 絡
令和 7 年 6 月 16 日

都道府県
各 介護保険担当主管部（局） 御中
市 町 村

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課
厚 生 労 働 省 老 健 局 高 齢 者 支 援 課

大阪・関西万博における厚生労働省老健局の催事出展について

介護保険行政の円滑な実施につきまして、日頃からご尽力並びにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、6月21日から6月29日まで、大阪・関西万博において、大阪・関西万博の公式イベントである「HEALTH DESIGN 輝き、生きる。Live Brighter」に出展します。

会場内では8つのエリアで構成され、このうち、以下のエリアについては老健局より出展することとなりましたので、お知らせします。

つきましては、標記イベントについての関係機関等への周知のご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、詳細情報等は以下 HEALTH DESIGN 公式 HP をご確認ください。

【URL】<https://japanhealthonline.com/healthdesign/>

※別添としてパンフレットを添付します。

【老健局出展エリア】

○03「新しい認知症観」を 未来へ！

- ①VR 体験スペース：認知症の本人監修のもと、認知症の人の視界を「疑似体験」することで自分事として実感してもらい、認知症の人とともに生きる共生社会とは何かを考えるきっかけとなるコンテンツを体験。
- ②展示スペース：地域で認知症希望大使などの認知症の人の活動を紹介する映像や認知症や認知症の人を取り巻く国内外の歴史を年表形式にしたパネル等を展示。

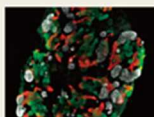
○05 介護ロボット等テクノロジーの普及

- ①テクノロジー活用例をアニメーションで上映
 - ②介護に直面する 2 人の主人公のライフステージの変化(※)に沿った介護との関わりを描くパネルの展示や AI 等を活用したテクノロジーの体験展示
- (※) 現在は親の介護→15年後は自分自身が介護施設に入所

01

新時代の治療法 ～再生医療の最前線～

Medical Technologies of the New Era
～Frontiers of Regenerative Medicine～



再生・細胞医療・遺伝子治療分野について、臨床研究支援・実用化のための技術的支援・人材教育の体制強化・マッチング支援・イベント開催等に取り組む、革新的な研究開発について効果的な情報発信を行います。具体的には、最先端の研究者に直接対話・学生を対象として、再生医療等に関する基本的な事項について学ぶことができるよう、アニメーションのキャラクターなどの映像を活用した体験型展示とともに、国内外の研究者や投資家が関心を持つことができるよう、研究者や投資家等を対象として、再生医療等の最新の研究の最新動向やガイドラインなどの最新の映像の展示や、最新の細胞培養装置の展示を行います。

02

障害者自立支援機器 ～「つなぐ」テクノロジー～

Assistive technology innovations for well-being
・TSUBASU technology



国立障害者リハビリテーションセンターでは、障害者の自立と社会参加の促進、QOLの向上を目的として、障害者のニーズを反映した支援機器及び支援技術の研究・開発・普及活動を行っています。本ブースでは1)福祉機器を活用したスイッチ入力システム・ジョイスティック・画面を活用したインターフェースと遠隔操作支援ロボット等こどもの療育に向けた取り組み、の4つの内容について体験などを進めて紹介いたします。

The National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities conducts research, development, and promotion of assistive technologies that reflect the needs of persons with disabilities. The aim is to facilitate their independence and social participation and improve their quality of life. At this booth, we will demonstrate the following four topics through hands-on experience: (1) Switch Input System that Utilizes Eye Movements, (2) Gesture Recognition Interface, (3) Remote Work Support Robot, and (4) efforts to promote the use of prosthetic hands for children.

03

「新しい認知症観」を 未来へ！

Let's have a new vision of dementia for the future.



①VR体験スペース：認知症の人本人の視点のもと、認知症に詳しくない人でも、認知症の人の世界を「疑似体験」することで当事者として実感してもらい、認知症の人と向き合える社会とは何かを考えるきっかけとなるコンテンツとなっています。②展示スペース：地域で認知症ケア大使(※)などの認知症の人の活動を紹介する映像や認知症の人の取り組みの歴史を年表形式にしたパネル等を展示しています。

※認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができている事例を積極的に発信する認知症の人本人、厚生労働省において実施しています。

③VR Experience Space: Through immersive virtual reality technology, visitors can experience and understand the perspective of people with dementia. This helps build empathy and promotes the creation of an inclusive society. ④Exhibition Space: Features videos of NPO TAGU (Inoue Ambassadors) appointed by Japan's Ministry of Health, Labour and Welfare, sharing their positive experiences of living with dementia. The space also displays a timeline showing the evolution of dementia awareness in Japan and globally.

04

日本の先進的な医薬品等の 情報発信

Providing information on advanced Japanese
pharmaceuticals and other medical products.



大阪・関西万博では、健康・医療の質の向上に寄与し、健康な生活及び長寿を実現することの持続可能な社会の在り方を示すとともに、世界に向けて日本ヘルスケアサービスを発信することの主要テーマの1つとして掲げている。我が国の医薬品や医療機器企業等の未来を託された夢のある機関を世界に向けて効果的に情報発信していくため、先進的な医薬品、医療機器、先端医療について、国内企業等と協力して取り組むための近未来のストーリーの投影を行う。

The main themes of the Osaka/Kansai Expo include contributing to the improvement of the quality of health and medical care, demonstrating the ideal of a sustainable society where people can enjoy healthy living and longevity, and presenting the Japanese model of healthcare services to the world. In order to effectively communicate to the world the future-focused and inspirational vision of Japanese pharmaceutical and medical device companies, we will project attractive near-future stories, created in cooperation with Japanese companies, regarding advanced pharmaceuticals, medical devices, and medical care.

05

介護ロボット等 テクノロジーの普及

Promotion of Technology such as Care Robots



「介護ロボット等テクノロジーの普及」ブースでは、介護テクノロジーの最新展示や体験を行っています。厚生労働省では、サービスの質の向上や職員の業務負担軽減を図るため、介護テクノロジーの普及を推進しています。ブースでは、普段介護に携わっていない方でも身近に感じてもらうよう、ライフステージ毎に発生した課題等に対して介護テクノロジーがどのように役立つのか紹介しています。

The "Promotion of Technology such as Care Robots" exhibit showcases technology for long-term care and offers hands-on experiences. Aimed at promoting the use of these technologies, the Ministry of Health, Labour and Welfare (MHLW) seeks to reduce caregiver's workload and enhance service quality. The exhibit is designed to be accessible to everyone, even those unfamiliar with long-term care, by demonstrating how technology can address challenges at every stage of life.

06

ユニバーサル・ヘルス・ カバレッジって大事だね！

What is UHC? Universal Health Coverage



「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)」の達成により、経済的な困難を抱えることなく、全ての人々が手頃な価格で基礎的な保健医療サービスを受けられるようになります。UHCに対する理解を深めるため、「UHCとは？」という内容をわかりやすい動画で紹介し、UHCの重要性をより直感的に理解できるように、「UHCが達成された社会」を見て楽しむインタラクティブな展示を行います。

Achieving universal health coverage (UHC) leads to the prevention of the risk of people falling into poverty and/or damaging their health, through ensuring that everyone can access basic health services at an affordable cost. For our better understanding of UHC, a simple and accessible video explaining "What is UHC?" will be presented. In addition, an interactive exhibition will allow visitors to see what a society with UHC looks like, helping them understand its importance more intuitively.

07

PHR連携が生み出す、 新時代のウェルネス体験

Unlock a new wellness era with PHR



日本をはじめ世界的に少子高齢化・人口減少の課題に直面する中で、予防・健康づくりの重要性が増し、かり、個人の健康・医療データであるPHRには大きな期待が寄せられています。万博会場では、運動・食事・睡眠・暮らしをテーマとして、内視により個人に最適化された新しいウェルネス体験を提供します。あなたらしく暮らしながら自然と健康になれる、未来の健康社会の可能性を感じていただけます。

Visitors can experience new services utilizing personal health records (PHR), related to a wide range of services such as exercise, diet, sleep, and lifestyle. Through the experience, you will glimpse into the future of a health-focused society, where you can naturally enhance your well-being by simply living in a way that feels true to yourself.

08

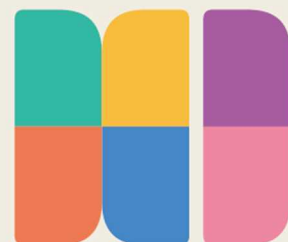
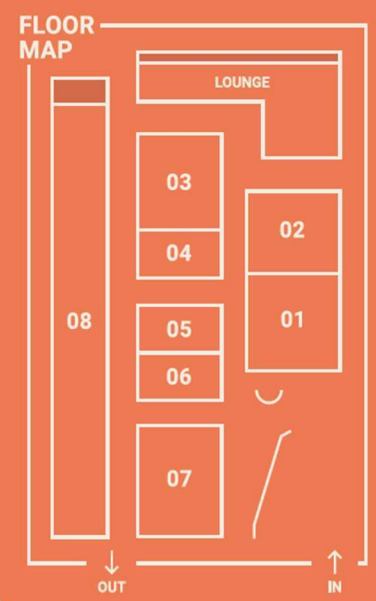
次世代医療機器等 体験コーナー

Next-generation Medical and
Assistive Devices Experience Area



「次世代医療機器等体験コーナー」には、医療機器分野11社、福祉機器分野6社の合計17社の日本企業が出品し、テクノロジーを駆使した最新の機器を展示します。医療分野では、採用型手術支援ロボットやAIによる画像診断ソフトウェア等、医療現場で活用されている最先端の機器を展示します。福祉分野では、顔表情を利用したウェアラブル端末など最新技術を用いた機器の体験が可能です。来場者の皆様には、展示物の体験を通して、最先端の医療等を受ける未来を体感していただけます。

Our area showcases the most advanced medical and assistive devices presented by 13 Japanese companies. Visitors can experience robot-assisted surgery system, AI-based diagnostic imaging support system, and wearable devices using supersonic waves. We will provide a taste of the future where visitors can enjoy advanced medical services.



HEALTH DESIGN

輝き、生きる。| Live Brighter



06 21 sat
06 29 sun 2025

Entry
10:00-19:00
(14:00 on last day)
Close
20:00